

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	131豊かな人間性を育む幼児教育の充実		
施策のねらい(めざす姿)	家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携が深まり、幼児たちがいきいきと活動しています。		
基本目標	1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長
政策	13人間性豊かな子どもの育成環境をつくります	マネージャー氏名	星野 里香

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	国はすべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育の無償化に段階的に取り組んでおり、市においてもそれらを踏まえ、実施していく必要がある。	③改革・改善内容	今後もすべての子どもに質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育無償化について、適正に実施していく必要がある。
②①に基づく取り組み結果	令和元年10月から施行された幼児教育無償化について、国の方針を踏まえ、市の制度を整備した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	幼稚園とその在園児・保護者	意図(対象をどうするのか)	すべての園児に等しく質の高い教育が保障される
②施策の概要	全ての園児に等しく質の高い教育が保障されるよう、幼児教育体制の充実や、幼稚園に在園している世帯の経済的負担の軽減を図るため、幼稚園就園奨励費の交付を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	令和元年10月から幼児教育無償化が施行され、所得にかかわらず上限額の範囲内で、幼稚園施設等利用費として給付する制度に変更した。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①令和元年度～2年度の施策の成果	令和元年度:幼稚園就園奨励費補助金から施設等利用費に変更したことに伴い、ひとり親世帯等及び多子算定、所得制限が撤廃され、幼稚園を利用する園児に対し、月額25,700円を上限に無償化した。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	目標値(2年度)
	i	市内幼稚園児・保育所児童数	人	3,484	3,245	3,188	3,500
	ii						
	iii						
③基本事業成果指標	i	幼稚園振興費補助金支出件数	件	9	9	9	9
	ii	幼稚園就園奨励費補助金支出件数	件	1,719	1,625	0	1,900
	iii	私立幼稚園施設等利用費支出件数	件	0	1,728	1,668	1,900
	iv						
	v						
	vi						
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	令和元年度決算	令和2年度決算	市民一人あたり事業費(2年度決算)		令和3年度予算		
事業費(千円)	378,421	533,112	(単位:円) 4,872 円		553,830		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	少子化の影響により、対象者数は減少しているが、幼児教育無償化制度が施行された事により、幼稚園就園奨励費補助金よりも補助内容が拡充されたため、補助金額が増加している。		
②総合評価	3一部未達成	③総合評価の理由	国の幼児教育無償化制度の施行に伴い、遅滞なく市の制度を整備したが、幼稚園児・保育所児童数は減少し、施設等利用費支出件数も減となっていることから評価した。

V 今後の方向性

①施策の方向性	→維持
②上記方向性の説明	子育て支援策は市の重点施策であり、その経済的支援の一つである私立幼稚園施設等利用費の給付は、国の幼児教育無償化の取組内容を注視しつつ、引き続き実施していかなければならない。
③特に重点化する事務事業	私立幼稚園等に要する経費